



生きづらさのあまり進化した 人類を描くSF短編。

『キャビネット』

小指でイチヨウの木が育つ男。タイムスリップをして戻ってきた女。職場のキャビネットで見つけたのはシントマーと呼ばれるポスト人類のファイルだった。語り手も両親と愛犬を亡くし、就活連敗中に恋人が結婚したことを知ると、450箱の缶ビールを買い込んで175日間飲み続けた男。進化したはずの新人類が物語るのは自分たちの生きづらさ。掌編がひとつに繋がる幕切れまでシリアスな現実にはシニカルなユーモアで応酬した快作。

キム・オンス著 加来順子訳

論創社刊 ¥2,750